



第23回 サイエンス・カフェ

参加
無料
※要申込み

世界で一番小さい カプセルの化学

2016年のノーベル化学賞は、「分子マシンの設計と合成」でした。
この分子マシンの重要なパーツであるカテナンやロタキサンに用いられる素材に、
シクロデキストリンなどの環状分子(超分子)があります。
10億分の1メートルの大きさの空洞を持ち、その空洞に水中で油分を取込み、
カプセルを作る面白い特徴を持ちます。
シクロデキストリンは、「練りわさび」や「消臭剤」などに含まれています。
身近な暮らしの中に使われている最先端の化学を簡単に解説します。

2018 **8.25** **土**
13:30~15:00
山陽小野田市立中央図書館
2F 第一会議室
定員/15名 対象/高校生以上

講師

山陽小野田市立山口東京理科大学工学部
応用化学科 教授

白石 幸英氏 (専門:超分子化学)

プロフィール

1984年 山口県立宇部高等学校 卒業
1988年 東京理科大学 工学部(学士、修士、博士)
1990年 コニカ株式会社
1996年 山口東京理科大学(助手、講師、准教授)
2006年 ハワイ州立大学 博士研究員
2014年 山口東京理科大学 応用化学科 教授
2018年 山陽小野田市立山口東京理科大学
先進材料研究所 所長



お問合せ・お申込先/山陽小野田市立中央図書館 TEL/0836-83-2870